



『風雲！たけし城』 サウジアラビアでの現地制作に基本合意

中東サウジアラビアの王族と駐日大使が、TBS の『風雲！たけし城』のサウジアラビアでの現地制作に向けた契約調印のため、24 日、TBS 本社を訪問されました。



今回 TBS を訪れたのは、サルマン国王の勅命で王宮のアドバイザーに任命され、スポーツ庁長官でもあるツルキ殿下 (His Excellency Mr. Turki Bin Abdulmohsen Al Alsheikh) と、フェサル王子 (His Royal Highness Prince Faisal bin Bandar bin Sultan Al Saud)、そしてアハマド駐日全権大使です。フェサル王子は、2015 年 5 月に TBS を訪れ、同王子が会長を務める Banader Gulf Media 社を通じて、『SASUKE』の中東現地版“Arabian Ninja Warrior (アラ

ビアン・ニンジャ・ウォリアー)”を制作した実績があり、今回ツルキ殿下とともに、TBS への訪問が実現しました。(写真はツルキ殿下と石原俊爾会長)

今回の訪問では、『風雲！たけし城』のサウジアラビアでの現地制作に関するオプション契約に両者間で調印、2 年前の TBS 訪問以降の『SASUKE』現地制作への協力と支援に対する御礼が述べられるなど和やかな雰囲気、相互協力関係に関する意見交換がなされました。この契約調印により、『風雲！たけし城』の中東と北アフリカのアラビア語圏向けの現地制作に向けた作業が本格化します。



日本とサウジアラビアは、今年 3 月のサルマン国王来日時の安倍総理との首脳会談において、両国の 9 分野に及ぶ経済協力強化に向けた『日・サウジ・ビジョン 2030』に合意しています。日本の放送局である TBS と、サウジアラビアとの今回の放送コンテンツ輸出を通じた文化交流には、日本政府も関心を寄せています。

『風雲！たけし城』は、これまでに 159 の国と地域で放送実績があり、“Takeshi’s Castle (タケシズ・キャッスル)”として世界でも人気が高く、日本の放送コンテンツ輸出で最も成

功した作品の一つとしても知られています。近年、タイやインドネシア、ベトナムで新たな現地版制作が実現した他、メディア最大手 Viacom (バイアコム) 社系の英 Comedy Central (コメディ・セントラル) 社とは、今年、タイ版“Takeshi’s Castle Thailand (タケシズ・キャッスル・タイランド)”の映像を元にした、英語版の世界配給で合意しています。先月、イギリスを皮切りに始まった放送では、同局の放送当日全日一位を記録。今回のサウジアラビアでの現地制作契約調印で、世界的人気に拍車がかかりそうです。

【参考】

TBS オンライン・カタログ: <http://www.tbscontents.com/en/>

TBS海外番販公式フェイスブックページ: <http://www.facebook.com/tbs.intl.sales>

TBS 海外番販公式ツイッター: https://twitter.com/TBS_prosales

【TBS 海外事業について】

TBS は 1960 年代以降 50 年あまりにわたり海外番販に積極的に取り組んでおり、特に「フォーマット番販」の分野では世界的にも草分け的な存在。これまで米 Bellon Entertainment 社と共同で、世界 160 を超える国・地域で 200 種類近く、数千話におよぶ「フォーマット番販」による TBS 番組の各国版制作を実現しており、各国で国民的な人気を博した(博している)番組も多数。またドラマやアニメなどすべてのジャンルの番組や映画も販売しており、累計の販売実績は、世界 5 大陸 160 を超える国・地域、数百タイトル、数万話におよび、テレビ、映画ともに「コンテンツ・プロバイダー」としての世界におけるプレゼンスを増している。また、近年は共同制作や配信、早期販売にも力を入れ販路を拡大している。

お問合せ先: メディアビジネス局 海外事業部(杉山・黒川)

Tel: 03-5571-3085 Fax:03-3505-1584

以上